

みやぎ復興プレス

「みやぎ復興プレス」では、東日本大震災により被災された方をはじめとした復興に関わる多くの方々に、宮城の復興状況やイベント、被災者支援など、復興に関する主な情報をお届けします。メールマガジンやWebサイトとも連動し、多くの皆さまのお手元に情報をお届けしますので、よろしくお願いいたします。

目次

- p1 トピックス：子どもたちの未来に向かう手助けに！
 p2 トピックス：みちのく未来基金、応援職員紹介
 P3 月間ココロプレス、被災地からのレポート
 p4 県からのお知らせ、復興イベント情報 ほか



メールマガジンによる配信も行っています！ 配信を希望される方は、1 お名前、2 お住まいの都道府県、3 ご所属（個人の方の場合は不要）をメール本文に記載して fukusuim@pref.miyagi.jp まで送信願います！

トピックス

子どもたちの未来に向かう手助けに！ — 震災遺児等に対する支援の状況 —

東日本大震災で親を亡くした子どもたちは、県内で1,059人（平成26年10月1日時点）となっています。

県では、児童相談所等の関係機関の連携のもと、心のケアなどの支援を行っているほか、「東日本大震災みやぎこども育英基金」を活用し、子どもたちの安定した生活と希望する進路選択の実現を支援するため、支援金・奨学金制度の創設等に取り組んでいます。

「東日本大震災みやぎこども育英基金」

— 宮城県取り組み —

東日本大震災以降、県に寄せられた国内外からの寄附金を活用し、「東日本大震災みやぎこども育英基金」として積み立て、震災で親を亡くした子どもたちの支援金・奨学金制度を創設しています。

【東日本大震災みやぎこども育英基金へのご寄附の状況】

東日本大震災みやぎこども育英基金には、平成26年9月30日時点で、10,744件、79億5,414万1千円のご寄附をいただきました。

【支援事業の概要：支援金・奨学金の対象及び額】

未就学児：月額金10,000円／就学前一時金100,000円
 小学生：月額金10,000円／卒業時一時金150,000円
 中学生：月額金10,000円／卒業時一時金200,000円
 高校生：月額金20,000円／卒業時一時金600,000円
 大学生：月額金30,000円／入学時一時金360,000円

【支給実績】

これまで、1,045人に約8億9,024万円を支給しました。

震災孤児・遺児数(平成26年10月1日時点)

区分	支援金 未就学児	奨学金			合計
		小学生	中学生	高校生	
震災孤児	10人	53人	29人	44人	136人
震災遺児	207人	304人	203人	209人	923人
合計	217人	357人	232人	253人	1,059人

また、民間の支援団体等においても、基金を創設して、親を亡くした子どもたちの未来のため、奨学金等の支援に取り組んでいただいております。

「みちのく未来基金」

— 民間企業の取り組み —

東日本大震災で両親またはいずれかの親を亡くした子どもたちの、高校卒業後の進学の夢を応援するため、カゴメ、カルビー、ロート製薬の3社が発起し、平成23年10月に「みちのく未来基金」を立ち上げました。平成25年4月にはエバラ食品工業も、この取り組みに参加し、平成26年8月31日時点の、寄附金の総額は、15億円を超えました。

みちのく未来基金の大きな特徴は、給付対象者の人数制限を設けず、一人一人の子どもたちの状況に応じた給付（一律給付ではない）とし、震災時0歳だった子どもたちが、大学等を卒業するまでの約25年間事業を継続する予定ということです。また、奨学金を受けた学生同士での交流も積極的に行っています。

【給付内容】

高校卒業後の大学・短大・専門学校における入学金・授業料の全額を給付（一人当たり年間上限300万円）

【お問い合わせ先】 東日本大震災みやぎこども育英基金（県子育て支援課）

みちのく未来基金 <http://michinoku-mirai.org/>

☎022-211-2528

☎022-343-9996



カゴメ、カルビー、ロート製菓、エバラ食品工業の4社のほか、多くの企業・団体・個人の方々から寄付を募り、設立された「みちのく未来基金」。東日本大震災で両親またはいずれかの親を亡くした子どもたちの、高校卒業後の進学を応援しています。

今月号は、みちのく未来基金の竹中俊之業務執行理事と北岡祐治事務局員にお話を伺いました。

●みちのく未来基金事務局について教えてください。

カゴメ、カルビー、ロート製菓、エバラ食品工業の4社から職員を派遣する形で、事務局を担っています。これまで、多くのサポーター(約580の企業・団体や約2,800人の個人の方)からご寄付をいただき、子どもたちの進学の夢を応援しています。

いただいた寄付金は、全て子どもたちのために使うお金とし、我々職員の人件費や事務所運営費は、派遣元の会社が負担しています。

●団体の具体的な取り組みについて教えてください。

これまで3期327名に給付しており、第4期(平成27年4月進学希望)は98名のエントリーがあります。

毎年春には、みちのく生の「集い」を実施し、4月からそれぞれの志望校へ進学する子どもたちを集めて、交流を深めています。平成26年3月には第3期生の集いを

実施しましたが、この運営には第1期と第2期の先輩スタッフが応援に駆けつけてくれました。ほかに、夏の集いや個別面談をとおして、子どもたち同士のつながりを深めています。やはり同じ経験をした先輩・仲間というのは、彼らにとってかけがえのない財産になると思います。



第3期生の集い：オレンジ色のジャンパーが先輩スタッフ

●これからの抱負について教えてください。

基金の対象になっていながら、基金を知らない子どもたちが全国にはいるかもしれません。全ての震災遺児等の進学の夢を応援するため、全国を周りながら、情報提供していきたいと思います。

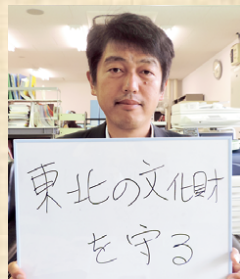
また、震災遺児の最後の1人が大学等を卒業するまで、継続的に支援をしてまいります。



みちのく未来基金事務局の皆さん

全国の皆さま ご支援ありがとうございます！

応援職員紹介コーナー Vol.25



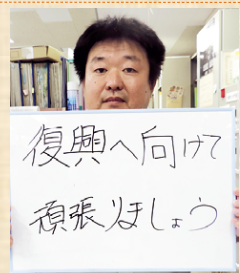
氏名 谷 和隆 (タニ カズタカ)
派遣元 長野県
所属 文化財保護課

長野冬季オリンピックを開催するなど、自然豊かな土地である長野県から派遣されています。

宮城県では、多賀城市の区画整理事業

の文化財の調査を担当しました。そこは、現在も建っている「八幡神社」に関連する遺跡があり、現地の方々40人くらいと発掘調査を進めてきました。

派遣職員が多い職場のため、他の都道府県の職員とつながりができたことは、一生の財産です。長野県に戻っても、宮城県で学んだことを活かして、仕事をしていきたいです。

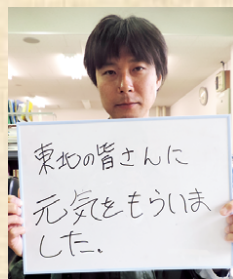


氏名 荒引 圭俊 (アラビキ ケイシ)
派遣元 岐阜県
所属 仙台土木事務所

派遣元の岐阜県は海がなく、長良川の鵜飼や郡上八幡地域の街中で昔洗い場として利用した歴史的な水路など川の文化が残っています。

宮城県は初めて来ましたが、温かい人が多く、日本酒や海産物が本当においしいです。

宮城県では、七ヶ浜町の防潮堤整備を担当しています。海がない県のため、大規模な海岸防潮堤に係る仕事は初めての経験です。被災地を訪れると、まだ復興が進んでいないところもあるので、少しでも復興の力になれるよう頑張ります。



氏名 潮田 憲幸 (ウシオダ ノリユキ)
派遣元 新潟県新潟市
所属 文化財保護課

お米とお酒が美味しい新潟市から派遣されています。震災の翌月には、仙台市に炊き出し等のお手伝いで派遣されていました。

宮城県では、集団移転や常磐線移設にともなう埋蔵文化財の発掘調査を石巻市、山元町、気仙沼市などで行っています。特に、石巻市の牡鹿半島の縄文時代前期の発掘調査は、派遣元ではなかなか経験できない遺跡を調査することができ、とても勉強になりました。

少しでも復興の役に立てるよう、業務に邁進してまいります。



氏名 水津 明日香 (スイヅ アスカ)
派遣元 奈良県
所属 河川課

寺社・仏閣が数多い奈良県から派遣されています。関西では東日本大震災への思いが風化しつつある印象もあり、私自身は復興に関して何もできなかったことから、少しでも被災地の力になれるよう、希望して来ました。奈良県は海がなく、海産物にあまり馴染みがなかったのですが、宮城県に来て、その美味しさに驚きました。

宮城県では、河川に係る工事経理を担当しています。県民や宮城県を訪れる皆さまの安全を守る事業に関われることにやりがいを感じ、日々の業務を行っております。

「ココロプレス」は宮城県の復興を応援するブログです。

宮城の復興状況や生活再建に懸命に取り組む人々の姿、全国から寄せられる力強く温かい応援の様子などを随時発信しています。

おかげさまでアクセス数が
100万件を超えました。

宮城の
復興情報を
募集中です!

復旧復興のPRや支援の取り組みなど、伝えたい情報を、下記メールアドレスまでご連絡ください。
fukusuip@pref.miyagi.jp
必要事項: 1取材対象 / 2取材希望日 / 3取材場所 / 4御担当者氏名 / 5電話番号
※内容や日程によってはご希望にそえない場合もございますので、ご了承ください。



ココロプレス 検索

2014年10月3日 金曜日掲載

山元町の未来のために～ 「やまもと語りべの会」(山元町)

http://kokoropress.blogspot.jp/2014/10/blog-post_3.html

山と海に囲まれた自然豊かな町、山元町。その記憶を後世に語り継ぎ、町の魅力をたくさんの人に知ってもらいたいと活動しているのが「やまもと語りべの会」です。群馬県館林市立第一中学校の被災地体験学習に同行し、案内していただきました。



2014年10月11日 土曜日掲載

失われた「闇市」。そして「復興市場」へ (塩竈市)

http://kokoropress.blogspot.jp/2014/10/blog-post_11.html

「場所さえあれば、まだまだできる。復興のためにやらなければいけないことが、まだいっぱいあるからね」。津波で流された塩釜海岸中央鮮魚市場(通称「闇市」)から仮設の「しおがま・みなと復興市場」に移った鮮魚商・佐藤秀治さんの言葉です。



2014年10月11日 土曜日掲載

ダンスの先生が女川町にやってきた (女川町)

http://kokoropress.blogspot.jp/2014/10/blog-post_74.html

「自分には何ができるか?」被災地を訪れる人たちの多くが自分自身に向ける問いかけ。19歳でダンス歴12年のベテラダンサーC-ONEさんの答えは、「子どもたちにダンスの楽しさ、体を動かす素晴らしさを伝えたい」でした。



2014年10月12日 日曜日掲載

愛知×宮城 おいしいつながり! 豊川市から大葉のプレゼント (南三陸町)

http://kokoropress.blogspot.jp/2014/10/blog-post_12.html

愛知県豊川市などから来ていただいた応援職員の方々のご縁で、南三陸町の飲食店組合へ豊川市の「JAひまわり」「東三温室園芸農業協同組合」から「大葉」4000枚がプレゼントされ、「さんさん商店街」で贈呈式と料理のお披露目が行われました。



被災地からのレポート

http://inforanger.tasukeaijapan.jp/



3.11復興支援プロジェクト
情報レンジャー

「情報レンジャー@宮城」は、復興のための正しい情報やニーズを届ける「助けあいジャパン」の情報収集実行チームです。被災地の今をWebサイト上に公開していますので、どうぞご覧ください。

情報レンジャー@宮城 検索

仙台市荒浜の海水浴場入口付近

仙台市荒浜地区は、震災の津波で約800世帯が暮らしていた集落はなくなり、海岸線や護岸、農地などが甚大な被害を受けました。現在、海水浴場への入り口だった場所のそばには「荒浜慈聖観音」という観音像と慰霊碑が建っています。像の高さは約9メートル。当日にこの地に押し寄せた津波の高さに合わせているということです。

ホームページでは、ここ荒浜地区ののパンorama写真をご覧ください。

URL : <http://inforanger.tasukeaijapan.jp/report/141005-7/>



みやぎ復興住宅モデルプランを展示します

県では、県内の住宅関係団体等で「みやぎ復興住宅整備推進会議」を組織し、住宅再建を推進するとともに先進的で魅力あるみやぎの住宅・まちづくりのために知恵を絞っています。

今回、その会議メンバーの工務店や設計会社が、被災した方々の一日も早い住宅再建に役立てられるよう「みやぎ復興住宅モデルプラン」の提案を行いました。下記のとおり県庁内で展示しますので、県庁に訪れる際はぜひご覧ください。

📅 平成26年10月31日(金)～11月10日(月)

📍 宮城県庁2階 回廊

📞 県住宅課 ☎ 022-211-3256

※住宅課のホームページでも公開します。

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/juutaku/>

安倍総理大臣が被災地を視察

安倍総理大臣が、巨理町の長瀬小学校、山元町の農業生産法人 GRA、仙台市のサンピアスポーツクラブ仙台、南蒲生浄化センターなどを視察しました。安倍総理大臣が、宮城県を視察するのは、総理就任後7回目です。

安倍総理大臣は「(県内の)先進的な取組を、モデルケースとして、全国に向けて広げていきたい。」と述べました。



長瀬小学校を視察する安倍総理大臣(写真右)

復興 イベント情報

凡例 📅 日時、期間 📍 場所、会場 📌 内容等 🗨 問い合わせ

おでんまつり(仙台市)

復興に向かう塩釜地域から、おいしい「おでん」をお届けするイベントです。水産練り製品生産量日本一奪回を目指し、塩釜産の自慢のおでんや揚げかまぼこ詰め合わせを販売します。

📅 平成26年11月6日(木)～7日(金)

📍 仙台市勾当台公園市民広場

📞 県仙台地方振興事務所地方振興部 ☎ 022-275-9140

石巻圏域のかき祭り(石巻市・女川町)

11月、石巻地域で2つのかき祭りが開催されます。いずれのお祭りもかきが格安で販売されます。旬のかきを、どうぞ堪能ください。

マリナル女川おさかな市場 かき祭り

📅 平成26年11月8日(土)～9日(日) 10:00～15:00

📍 マリナル女川おさかな市場

📞 マリナル女川事業協同組合 ☎ 0225-54-4714

石巻かきまつり

📅 平成26年11月23日(日・祝) 9:30～14:00

📍 サン・ファン・パウティスタパーク

📞 宮城県漁業協同組合石巻市東部支所 ☎ 0225-90-2131

ポッケと収穫祭(七ヶ浜町)

七ヶ浜町特産のポッケのお祭りです。ポッケは毎年10月中旬から11月中旬にかけて多く収穫される魚です。新鮮な魚介や野菜がお買い得に買えるほか、ポッケ汁の無料試食もご用意します。七ヶ浜の味覚を、どうぞお楽しみください!

📅 平成26年11月9日(日)

📍 屋内運動場(すぱーく七ヶ浜)

📞 宮城県漁業協同組合七ヶ浜支所 ☎ 022-349-6222

志津川湾いくらまつり福興市(南三陸町)

11月の福興市は「いくら」をテーマに、物産・飲食ブースが立ち並びます。豪華商品の当たるスタンプラリーお楽しみ抽選会も開催しますので、ぜひご参加ください。

📅 平成26年11月30日(日)

📍 ベイサイドアリーナ特設会場

📞 南三陸福興市実行委員会 ☎ 090-7077-2550

イベントの日程・内容などは変更される場合がありますので、お出かけ前に、それぞれの問い合わせ先にご確認ください。

編集後記

先日、気仙沼市の鹿折地区に行ってきました。鹿折地区は、大型漁船が乗り上げられ、昨年解体されたのも記憶に新しいところですが、その近くに周囲で進む土地区画整理事業の工事が一望できる「鹿折見学台」が設置されていました。鹿折地区はかさ上げ工事が進んできており、多くの工事車両が行き来していました。

復興までは、まだまだ時間がかかりますが、復興の槌音は、確かに聞こえてきています。



平成23年7月3日撮影



平成26年10月1日撮影
(鹿折見学台の頂上から撮影)

みやぎ復興プレス 第30号

【発行日】平成26年11月1日 【発行】宮城県震災復興本部(事務局:震災復興推進課)

電話: 022-211-2408 e-mail: fukusuif2@pref.miyagi.jp

宮城県ホームページ「震災復興推進課」

[URL http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/fukusui/](http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/fukusui/)

「震災・復興」

[URL http://www.pref.miyagi.jp/site/ej-earthquake/](http://www.pref.miyagi.jp/site/ej-earthquake/)

